

令和4年度（令和3年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
美術

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、西洋美術史における様式を説明したものである。古い時代のものから順に正しく並んでいるものを、下のa～dから一つ選びなさい。

ア

- ① キリスト教をもとにペルシャなどの影響を受けた美術が開花した時代のこの様式は、中央に大ドーム、四方に小ドームをのせたアーチ式構造の重厚な建築物が特徴的である。窓が小さく壁面の多い内部はモザイクタイルによって装飾されている。
- ② 建築や室内調度品に見られる装飾の様式。曲線を多用し、植物など自然の形態を応用した図柄が多い。
- ③ ローマ法皇に全ての権力が集中した時代のこの様式では、聖堂内部はステンドグラスで飾られた大型の窓が取り付けられ、荘厳な空間をつくり出している。
- ④ この様式の名は、いびつな真珠という意味を持つ。調和と均整を求めた前時代に対して、曲線を多用した装飾や劇的な印象を与える誇張された表現に特徴がある。

- a ③→①→④→②
- b ①→③→②→④
- c ①→③→④→②
- d ④→①→③→②

(2) 次の文は、日本美術史における各時代を説明したものである。古い時代のものから順に正しく並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- ① この時代は、大陸との交流が活発となり、シルクロードを經由して西アジアなどの様々な文物が到来し、多彩な仏教文化が花開いた。また、そこから日本独自の表現として、高い精神を表現した仏像や工芸品が作られた。
- ② この時代は、武家と公家の文化が融合し、それに禅宗が影響を与え、優雅で深みのある美術が栄えた。茶の湯や、生け花、能、狂言など、現在日本独自の文化といわれているものが生まれたのもこの時代である。
- ③ 天台、真言などの密教が盛んになるとともに極楽往生を願う寺院や仏像が多く作られた。絵画でも曼荼羅や不動明王など密教のものが中心に作られた。
- ④ 経済が発展して商人が力を持ったことで、華やかで爛熟した町人の文化が栄えた。また、写生によって真の姿を描きその後の絵画に大きな影響を与えた者や、行く先々の農村で今でも信仰を集める素朴な仏像をなたで彫り、全国を行脚した者もいた。

- a ①→②→③→④
b ①→③→②→④
c ③→①→④→②
d ①→③→④→②

2 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の作品の作者名を、下の a～d から一つ選びなさい。

- a アルブレヒト・デューラー b サンドロ・ボッティチェリ
c フランチェスコ・デル・コッサ d ミケランジェロ・ブオナローティ

(2) 上の作品の表現技法として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a フレスコ b テンペラ c 油彩 d ステンドグラス

3 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の作品(部分)の作者名を、下のa～dから一つ選びなさい。

- a アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
- b A.M.カッサンドル
- c エゴン・シーレ
- d アルフォンス・ミュシャ

(2) 上の作品の表現技法として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a シルクスクリーン
- b モノタイプ
- c リトグラフ
- d メゾチント

(3) (2)の技法で使用する版材として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a アルミ板
- b 銅板
- c ナイロン
- d ほお

(4) 上の作者と同時代の作家として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 長谷川等伯
- b 村上隆
- c 杉浦非水
- d 伊藤若冲

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の作品の作者名を、下のa～dから一つ選びなさい。

a 舟越桂 b 木内克 c 三沢厚彦 d 須田悦弘

(2) 上の作品の材料として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a テラコッタ, ガラス b 麻布乾漆, 大理石 c クスノキ, 大理石
d ブロンズ, ガラス

第2問 次の1～6の問いに答えなさい。

1 次の文は、描画技法について説明したものである。①～④の説明とA～Dの技法の名称との組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ① ガラスや吸水性の低い紙などの上に絵の具を出し、上から用紙をあててこすり、写し取る。
- ② 凹凸のあるものに薄い紙をあて、上から鉛筆やクレヨンなどでこすり、形を写し取る。
- ③ 水を含ませた筆先で軽くこすり、絵の具をうかせて拭き取り、その部分の調子を明るくする。
- ④ 乾いた筆で絵の具をこすりつけるようにして、かすれの効果を生かす。

〈技法の名称〉

- A 洗い出し
- B ドライブラシ
- C フロッタージュ
- D デカルコマニー

- a ①-D ②-C ③-A ④-B b ①-C ②-D ③-A ④-B
c ①-D ②-C ③-B ④-A d ①-C ②-D ③-B ④-A

2 次の文は、構成要素について説明したものである。①～④の説明とA～Dの要素の名称との組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ① 点や線を中心にして、左右上下が対応する形の構成。
- ② 形や色が一定の割合で段階的に変化する構成。
- ③ 配置や面積比、配色によって一部分を強調し視覚的に引きつける。
- ④ 同一の形や色彩などの繰り返し。

〈要素の名称〉

- A リピテーション
- B アクセント
- C シンメトリー
- D グラデーション

- a ①-A ②-C ③-D ④-B b ①-C ②-D ③-B ④-A
c ①-C ②-A ③-D ④-B d ①-C ②-D ③-A ④-B

3 次の文は、遠近法について説明したものである。①～④の説明とA～Eの技法の名称との組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ① 消失点が水平線上の一点に集まる図法。
- ② 近くのは濃くはっきりと、遠くのは淡く弱く表すことで遠近感を表す。
- ③ 暖色や明るい色は進出し、冷たい色や暗い色は後退して見えるという色の性質を使い、遠近感を表す。
- ④ 水平線の両端にある二つの消失点に加えて縦方向にもう一つの消失点がある図法。

〈技法の名称〉

- A 空気遠近法
- B 色彩遠近法
- C 一点透視図法
- D 二点透視図法
- E 三点透視図法

- a ①-C ②-A ③-B ④-D b ①-C ②-A ③-B ④-E
c ①-C ②-B ③-A ④-E d ①-D ②-B ③-A ④-C

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) コンパスでは引けない不定曲線を描く際に用いる、いろいろな曲線でできている定規は何か。最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 雲型定規 b からす口 c デイバイダー d 円定規

(2) 次の文の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(①)は、筆とガラス棒を使用し直線を引く方法で、ガラス棒と筆を箸のように持ち、ガラス棒を定規の凹みに滑らせるようにして引く。

- a ドウサ引き b スクラッチ c 溝引き d マスキング

5 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、デザインについて説明したものである。その名称として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

織物・染物にかかわるデザイン全般をいう。その表現は、手織りから機械織り、手染めから機械染め、コンピュータによる色柄プリントといった具合に、伝統工芸的な一品生産から工業デザイン的な大量生産まで幅広い。

- a サステイナブルデザイン b プロダクトデザイン
c テキスタイルデザイン d グラフィックデザイン

(2) 次の説明を読み、その名称として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

企業や団体が企業行動および経営理念の内部統一をはかり、社会にもそれを認知させるコミュニケーション活動。企業のトレードマーク、企業名のロゴタイプ、制服などの視覚的なイメージといった要素を含む。

- a メセナ b パブリック・アート c ダイアグラム
d コーポレート・アイデンティティ

6 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、カメラでの撮影について説明したものである。誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 撮影するときは、手ぶれを起こさないように安定させることが大切である。わきを閉めたり、壁に寄りかかって撮影するとよい。
- b 同じ位置から撮影しても、レンズの焦点距離によって写る範囲や遠近感が変化する。
- c 絞り値(f値)を変えるとピントが合う範囲が変化する。f2とf11を比較すると、f2の方がピントの合う範囲が狭い。
- d シャッターを切る速度で画像の出来具合が変わる。流れる水を撮影した場合、シャッタースピードが1/15と1/500では、1/500で撮影した方が、水の動きが感じられる写真になる。

(2) 次の文は、グループによる一般的な映像制作の大まかな流れを述べたものである。撮影のはじめから完成までを順に並べたものと、(A)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ① 場面ごとに撮影する。撮影者や音声担当など、分担して取り組む。
- ② オープニング画面や文字を入れる。
- ③ 台本や(A)をつくり、映像全体の流れをグループで把握しておく。
- ④ コンピュータで編集する。場面と場面をつなぎ視覚効果や音などを入れる。

	映像制作の流れ	A
a	③ → ① → ② → ④	ポートフォリオ
b	② → ③ → ① → ④	ポートフォリオ
c	③ → ② → ① → ④	絵コンテ
d	③ → ① → ④ → ②	絵コンテ

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の作品の作家名を、下のa～dから一つ選びなさい。

a 生野祥雲斎 b 角偉三郎 c 酒井抱一 d 尾形光琳

(2) 上の作品で用いられている主な技法の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 彫刻刀などで点や線を彫り、金箔や金粉をすり込む装飾技法。
- b 金箔を細く切り、下絵にそってつける装飾技法。
- c 夜光貝などの貝殻を薄く加工して木地や漆地の面に埋め込んだり貼り付けたりする装飾技法。
- d 素地に色漆を何十回も重ねて厚い漆の層をつくり、彫刻刀で彫り込んで模様を表現する技法。

2 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 次の写真はある工芸品の制作の様子である。この工芸品の名称として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

a ルウンペ b 紅型 c 京鹿の子絞 d 加賀友禅

(2) 次の文は、金属加工についての説明である。文中の(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

槌などで叩いて硬化した金属を、軟化させて加工しやすくする方法を、(①)という。出来上がった鋼を、高温で加熱後、水や油などに入れて(②)に冷ます操作を、(③)という。これは、鋼を硬くすることを目的に行うものである。

a ① 焼きなまし ② 急激 ③ 焼入れ
 b ① 焼きなまし ② 徐々 ③ 焼入れ
 c ① 焼入れ ② 急激 ③ 焼きなまし
 d ① 焼入れ ② 徐々 ③ 焼きなまし

(3) 次の文は、南部鉄器の加工についての説明である。文中の (①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(①) は、鋼材を加熱し、塑性を変化させて成形する方法である。塑性の (②) 金属は、常温での成形が可能である。

(③) は、高温で溶かした金属を型に流し込み、冷えてから取り出す成形法である。

- a ① 鋳造 ② 低い ③ 鍛造
- b ① 鋳造 ② 高い ③ 鍛造
- c ① 鍛造 ② 低い ③ 鋳造
- d ① 鍛造 ② 高い ③ 鋳造

(4) 次の工芸品は、青森県南部地方のものである。使われている技法の名称として適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

- a しじら織 b くみひも c 刺し子 d 印伝

(5) 次の工芸品のうち、江戸切子はどれか。次の a～d から一つ選びなさい。

キ

a

b

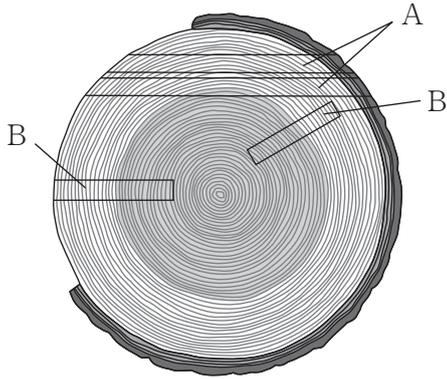
c

d

(6) 次の文と図は、木材の木取りについての説明である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

ク

図の (①) の (②) の板は形状が比較的安定している。(③) の板は外側の方向に反るので、加工の際には注意が必要である。



- | | | | |
|---|-----|------|------|
| a | ① B | ② 板目 | ③ 柁目 |
| b | ① B | ② 柁目 | ③ 板目 |
| c | ① A | ② 板目 | ③ 柁目 |
| d | ① A | ② 柁目 | ③ 板目 |

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の図の建築物群の名称として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

a 桂離宮 b 平等院鳳凰堂 c 法隆寺 d 鹿苑寺金閣

(2) 下の写真は、上記建物群に見られる建築物を示したものである。屋根の形として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a 切妻造 b 入母屋造 c 寄棟造 d 方形造

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の作品の作者名を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a ミース・ファン・デル・ローエ

b ロイ・リキテンスタイン

c 岡本太郎

d キース・ヘリング

(2)

a マルク・シャガール

b ヴァシリー・カンディンスキー

c フランツ・マルク

d ベン・シャーン

2 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)
a 横山操 b 小野竹喬 c 東山魁夷 d 土田麦僊

(2)
a 上村松篁 b 円山応挙 c 狩野永徳 d 小田野直武

3 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

オ

- a 北岡明佳 b 亀倉雄策 c カール・ゲルストナー
d ペア・アーノルディ

(2)

カ

- a 勝井三雄 b 青葉益輝 c 小島良平
d 粟津潔

4 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- a 新宮晋 b 澄川喜一 c イサム・ノグチ
d 黒川紀章

(2)

- a 安田侃 b リン・シュンロン c アニッシュ・カプーア, 磯崎新
d ファッシド・ムサヴィ

5 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

- (1)
- a エミール・ガレ b 尾形乾山 c 葛飾北斎 d 11代三輪休雪

- (2)
- a 富本憲吉 b 柏崎栄助 c 河井寛次郎 d 浜田庄司

【選択問題 中学校】

第5問 次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示） 第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、（ ① ）表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

- a 造形的な見方・考え方を働かせて、創造的に
- b 表現方法を創意工夫し、創造的に
- c 表現を工夫し、自分らしく
- d 自分の表現方法を見つけて、

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の(①), (②), 美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

- a ① 方法と材料 ② 形と美しさとの調和
 b ① 方法と材料 ② 機能性と色彩とのバランス
 c ① 意図と工夫 ② 機能性と美しさとの調和
 d ① 意図と工夫 ② 形と色彩とのバランス

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、(①), 心豊かな生活を創造していく態度を養う。

- a 美術を愛好する心情を培い
 b 美術を愛好する心情を深め
 c 美術や美術文化に親しみ
 d 美術や美術文化に敬意を払い

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示） 第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 A表現 (1) イ」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）・（ ② ）に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

- (ア) 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境，社会との関わりなどから主題を生み出し，（ ① ）調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え，表現の構想を練ること。
- (イ) 伝える目的や条件などを基に，（ ② ）などから主題を生み出し，伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え，表現の構想を練ること。

（ ① ）

- a 想像力を働かせて
- b 形や色彩の
- c 色彩感覚や構成力を働かせて
- d 美的感覚を働かせて

（ ② ）

- a 伝える相手や内容，社会との関わり
- b 伝える相手や内容
- c 伝えたい人や思い
- d 伝えたい人や思い，身の回りの生活

【選択問題 高等学校】

第5問 次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第1款 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

- | |
|---|
| <p>(1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、（ ① ）を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> |
|---|

- a 芸術文化を尊重する態度
- b 意図に基づいて表現するための技能
- c 芸術に関する知識及び技能
- d 主体的に活用できる技能

2 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

イ

(2) 造形的なよさや美しさ、(①), 美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

- a 本質的なよさや美しさ
- b 作品などに込められた作者の心情
- c 表現の意図と創意工夫
- d 造形の要素の働き

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現(3) 映像メディア表現」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

ウ

ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

- (ア) 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。
- (イ) (①), 動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

- a 色光や視点
- b カメラポジションや構図
- c 色光や形
- d 光の色や量

- (3) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を，下の a～d から一つ選びなさい。

エ

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，（ ① ），美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- a 感性と美意識を高め
- b 鋭敏な感覚を持って
- c 敬意をこめて
- d 自己の在り方や生き方との関わりの中で

- (4) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 2 内容 B 鑑賞（1）鑑賞」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を，下の a～d から一つ選びなさい。 オ

イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞

(ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り，心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え，見方や感じ方を深めること。

(イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り，（ ① ）などによる表現の相違点や共通点などから美術文化について考え，見方や感じ方を深めること。

- a 美意識や表現形式
- b 時代，国・地域，文化，信仰
- c 時代，民族，風土，宗教
- d 歴史，文化

【選択問題 特別支援学校】

第5問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のもので、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達が遅延があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅延の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

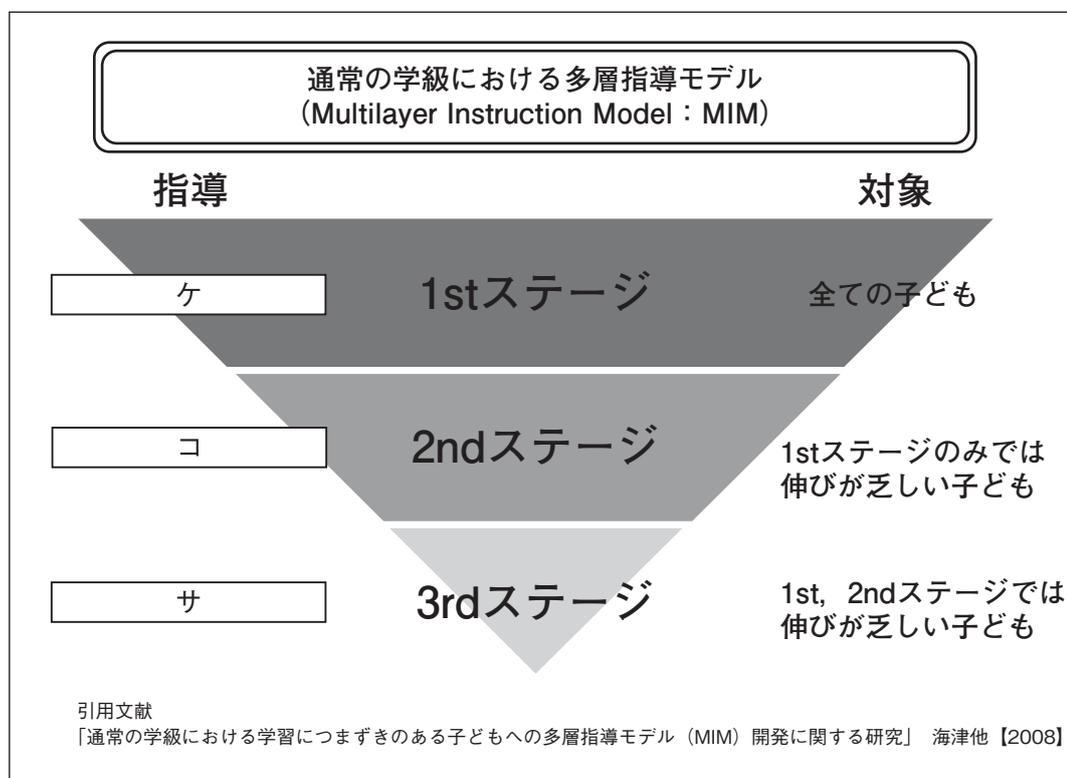
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の 関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

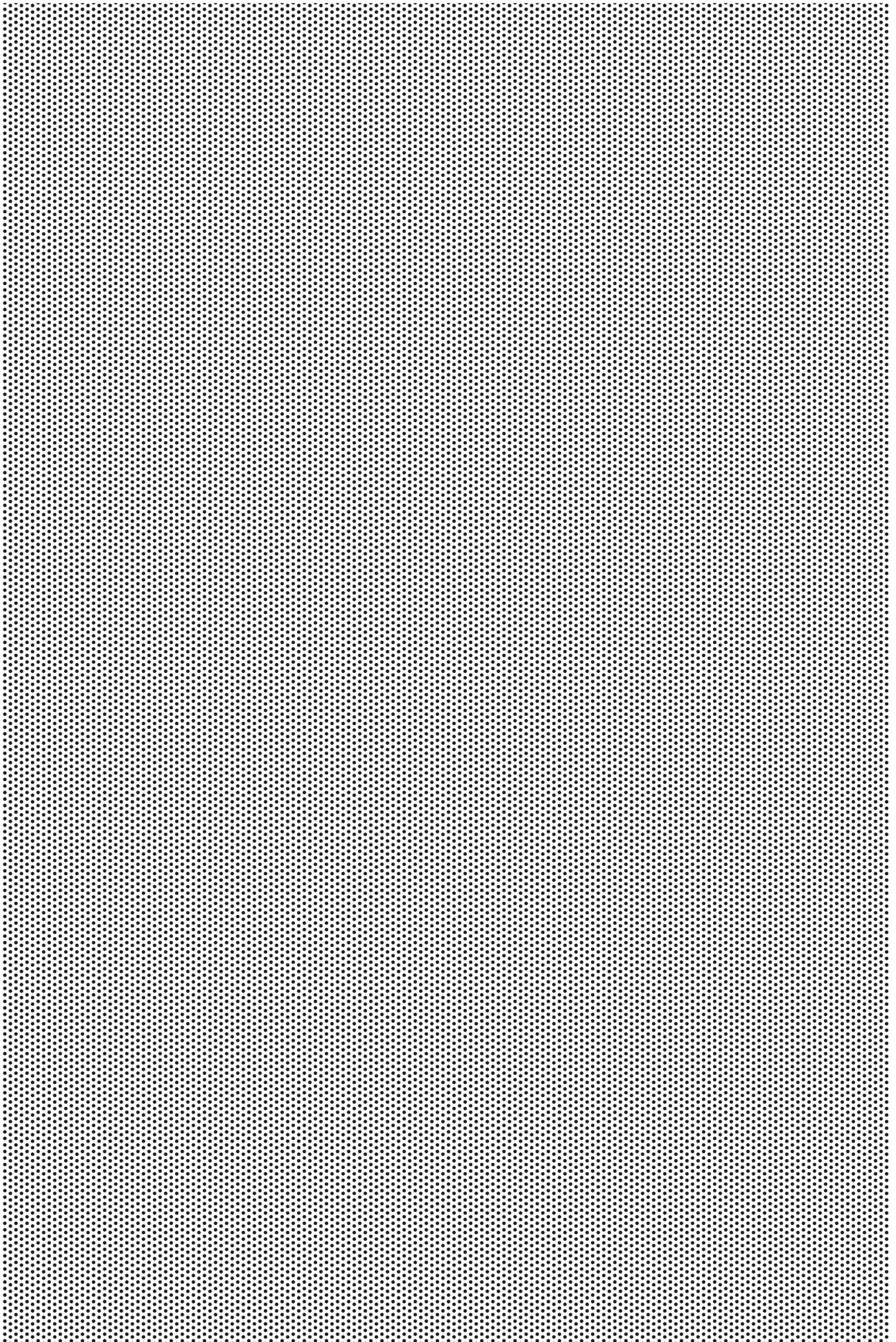
a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d メタ認知能力

a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において，次の図は，通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を，下の a ～ d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスの指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 第5問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 7 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

